

光一中だより

教育目標

- 自主的に学び、考え、実行する人
- 心豊かで、ともに助け合う人
- 健康で、勤労を愛する人



練馬区立光が丘第一中学校

校長 豊田 貴志

令和7年度 第9号

令和8年1月9日

「走り続けてきた先にある、次の一步」

校長 豊田 貴志

あけましておめでとうございます。令和8年が始まりました。今年は午年です。馬は目の前の道を力強く走るだけでなく、長い距離を走り抜く持久力をもった動物だと言われます。一步一步を積み重ね、止まることなく前へ進む。その姿は、私たちの学校生活にも重なるものがあります。



1月は「新しい始まり」の月ですが、同時に、これまで走り続けてきた道のりを振り返る節目の時期でもあります。私たちは決して、ゼロからスタートしているわけではなく、1学期、2学期と重ねてきた日々の延長線上に、今の自分が立っています。

昨年12月、3年生の面接練習を行いました。緊張した面持ちで言葉を選びながら、自分の考えや将来について語ろうとする姿がそこにありました。言葉に詰まる場面もありましたが、その一つ一つから、これまでの学校生活を真剣に歩んできたことが伝わってきました。不安を感じるのは、それだけ本気で向き合っているからです。面接練習で見た迷いや戸惑いは、これまで積み重ねてきた時間の重さそのものです。3年生は今、これまで走り続けてきた道の先に立ち、次の一步を踏み出そうとしています。

3学期は短い学期ですが、1年間の学びや経験が形となり、それぞれの進路や次の学年へとつながっていく、大切な時期です。3年生にとっては中学校生活の集大成の時であり、1・2年生にとっては次のステージ（学年）へ向かうための準備期間です。

午年である今、さながら駿馬のごとく、これまで歩んできた道のりを確かめながら、前を向いてこの3学期を駆け抜けて欲しいと願っています。今日の一日一日が、確実に未来へとつながっています。3学期も、それぞれの歩幅で、しかし止まることなく、前へ進んでいきましょう。皆さんにとって今年一年が素晴らしいものとなりますように。

